

平成28年3月31日

海津市長

松永清彦様

かいづ夢づくり協働事業審査委員会

委員長 石垣幸雄

平成27年度かいづ夢づくり協働事業採択事業の事業評価の報告について

みだしの件につきまして、かいづ夢づくり協働事業実施要項第15条の規定により採択事業の事業評価をしましたので、下記のとおり報告します。

記

番号	団体名	事業名
①	養老鉄道を守る会“かいづ”	養老鉄道利用者の拡大と利用意識を高めるためのイベント開催事業
②	特定非営利活動法人 良縁の会ひまわり	海津市住民の定住・移住に伴う出会いの場の提供
③	かいづ風土紀の会	海津風土記 歴史は残す
④	防災・減災の活動推進を考える会	防災・減災の活動促進事業
⑤	海津の防災を考える会	自助共助を進めるための防災対策
⑥	『子供塾 for Kaizu』	歴史探訪・環境調査・スポーツ等の体験学習を通して、将来の海津市を担って立つ子供達のための『子供塾 for Kaizu』
⑦	特定非営利活動法人 海津おやじの会	養老鉄道利用活性化事業 その2
⑧	その他	

事業名	養老鉄道を守る会 “かいづ”
実施団体名	養老鉄道利用者の拡大と利用意識を高めるためのイベント開催事業

事業に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	83%	5人	17%	1人		
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	83%	5人	17%	1人		
事業の発展性・継続性が認められるか？	83%	5人	17%	1人		
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	50%	3人	50%	3人		

意見・感想

参加者へのアンケート調査を実施したようだが、分析結果が示されていないので示してほしい。
 存続への請願署名の海津市長の提出はよい取り組みだと思う。
 イベント自体は成功していると思う。
 子供向け企画・イベント列車など、今後の存続に向けた様々な企画のモデル事業とも呼ぶべき取り組みを重ねてきたことは評価できる。
 自己資金の負担が少ないのではないか。

協働に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	67%	4人	33%	2人		
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	67%	4人	33%	2人		
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	33%	2人	67%	4人		

意見・感想

団体のみでも進められる内容と思われる。
 養老鉄道が存続することで団体は何ができるのかを考え、一歩進め、サポーター人材育成事業などのように養老鉄道の運営に関われる方向が望まれる。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

今のところ小学生や大人を対象とした事業ばかりなので、これからは今後利用する可能性がある中・高校生を対象とした事業も必要。
 近鉄が存続の方向で決断したこともあり、どういう形で存続するにしても、この活動の継続が大事。
 養老鉄道の今後については日常的な住民の利用；観光としての利用の両面での取り組みが必要。行政と市民団体との役割分担と連携が重要。
 イベント事業だけでなく、沿線市町と連携した乗降の動態調査をしてもらいたい。
 これまで一貫して人件費をとっていないが事業の発展を考えると人件費がないと厳しいのではないか。
 車庫ツアーで参加者を増やす努力がほしい。
 イベントのみでなく、自治会と協働して無人駅の清掃、サロンを実施しながらの駅舎の管理などはどうか。キセル対策にもなると思う。

事業名	特定非営利活動法人 良縁の会ひまわり
実施団体名	海津市住民の定住・移住に伴う出会いの場の提供

事業に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	33% 2人	67% 4人	
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	50% 3人	50% 3人	
事業の発展性・継続性が認められるか？	67% 4人	33% 2人	
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	17% 1人	83% 5人	
意見・感想			
<p>成立したカップルに対する海津市への定住・移住の取り組みが少ない。 行政提案になったので、審査会の時にも言ったように、市のPRという部分で、移住定住に結びつく事業を実施してほしい。前年度に作成したPR用DVDの活用を求める。 参加者を募集するのはなかなか大変なことかもしれないが、広告料だけが多く、実施したということだけで結果に結びつかず終わりという形になっているのが残念。 アンケートはよかったので充実をしてもらいたい。</p>			

協働に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	83% 5人	17% 1人	
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	83% 5人	17% 1人	
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	17% 1人	83% 5人	
意見・感想			
<p>単純に婚活をするだけでなく、海津市をアピールしてほしい。 協働事業として、県・市の進める移住・定住を前面に押し出してもらいたい。 カップリングは県・市のPRの次にあるもの、又、同じ方向性の男女でないかぎりカップルは成立しないのではないかなと思う。 今の良縁の会ひまわりの力としてはここまでというところ。あとは市として婚活事業をどうしていきたいかというところかと思われる。</p>			

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

<p>結果はすぐに出るものではないので、根気よくいろいろな男女のパターンの組み合わせを考えて続けることが大事だと思う。 コンサポぎふとの連携を行っていくとよいと思う。 美容師による第一印象アップのための講座やコミュニケーションワークショップのようないわゆる「男塾」を実施してはどうか。 団体による参加男性のフォロー（おもてなし役としてのフォロー）が必要と考える。人の魅力を市の魅力にしていってもらいたい。 参加者を募ることが苦勞であるが、より多数の参加者を集められるよう努力してほしい。 プロフィールのHPへの掲載のように、男性のアピールの仕方を考えればもっと参加者が集まってくるのではないかな。</p>

事業名	かいづ風土紀の会
実施団体名	海津風土記 歴史は残す

事業に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	67%	4人	33%	2人		
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	83%	5人	17%	1人		
事業の発展性・継続性が認められるか？	50%	3人	50%	3人		
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	67%	4人	33%	2人		
意見・感想						
<p>事業としてしっかりと結果を残している感じがする。 拓本の体験は、まだまだ恐らく多くの人に受け入れられるもので、非常に魅力的な講座になると思う。 子どもまちづくり講座の連携と子供達の史跡の取り組みについて、取り組みを考える必要がある。 拓本というものがどういうものなのかを市民に知らしめる効果はあったと思われる。</p>						

協働に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	67%	4人	33%	2人		
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	83%	5人	17%	1人		
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	33%	2人	67%	4人		
意見・感想						
<p>今回の成果の活用について、市の教育委員会と相談して進めてもらいたい。 展示場所を歴史民俗資料館よりももっと行きやすい場所で考えてはと思う。 産業祭をはじめ、イベントでの拓本体験に是非すすめてもらいたい。 教育委員会にもっと頑張ってもらいたい。</p>						

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

<p>この歴史資産を生かしてどう先に進んでいくのかが欲しい。 単に歴史的な遺産というだけでなく、現代に活用できるものはないのか他の専門家も加わり検討していく機会があれば、もっと活用が広がるのではないかと思う。 拓本の展示だけでは、ただ眺めるで終わってしまうのでは。その歴史的背景を合わせてのものにするのは難しいだろうか。 仕掛けることの難しさはあると思うが、折角のこれだけの資料を生かさないと手はないと思う。 防災面での活用がありうるか検討してもらいたい。</p>
--

事業名	防災・減災の活動推進を考える会
実施団体名	防災・減災の活動促進事業

事業に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	33%	2人	67%	4人		
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	33%	2人	67%	4人		
事業の発展性・継続性が認められるか？	33%	2人	50%	3人	17%	1
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	50%	3人	50%	3人		

意見・感想

防災講演会は年1回では少ない。海津・平田・南濃に分けて実施してほしい。あと、防災出前講座の年5回では少ない。
 市民の防災への意識の高揚には効果があったのではと思われる。
 実質1人でやっている。市民活動団体の体裁をなしていないのではないかと。自団体としての在り方の検討がまずは必要かと思う。
 事業自体の意義は認められる。
 講演会参加者が少ないので、市域全体からの参加に努力されたい。

協働に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	33%	2人	67%	4人		
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	33%	2人	67%	4人		
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	17%	1人	66%	4人	17%	1

意見・感想

自治会・自主防災会へのアピールが少ない。
 行政（危機管理課）と協働して行っていない。
 講演会・出前講座とひと回りしたあと、今後の目標をどうしていくのか？
 市との協働の充実が必要。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

「防災士林氏」の活動にしか見えない。団体として仲間づくりから始めないと継続できないと思う。
 いずれはもう一つの防災団体と一緒にやるということになるのではないかと。
 市民講座講師のような位置づけにしていったほうがよいのではないかとと思う。

事業名	海津の防災を考える会
実施団体名	自助共助を進めるための防災対策

事業に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	33%	2人	67%	4人		
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	17%	1人	83%	5人		
事業の発展性・継続性が認められるか？	50%	3人	50%	3人		
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	17%	1人	50%	2人	33%	3

意見・感想

防災士認定試験を合格した人の活用方法がわからない。
 委託料の内訳を示してほしい。
 丸ごと委託するなら夢づくり協働事業の枠組みを使わないほうがよい。
 養成講座開催にあたり、募集定員の半数に満たない実施であり、最低でも定員を割ることがないよう実施されたい。
 今後の展開が見えてこない。

協働に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	17%	1人	83%	5人		
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	33%	2人	67%	4人		
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	17%	1人	66%	4人	17%	1人

意見・感想

行政（危機管理課）との連携が取れていない。
 市内の防災士の連携が必要だと思う。
 危機管理課との協働は感じるが、それ以外との協働はあまり感じないか？
 防災・減災の活動推進を考える会と連携できるか？委託先と会との役割分担が不明。市の方針と市による団体間の調整が必要。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

合格した防災士と行政、地区社協－自治会との関わりあいの関連付けや、今後の活動の役割への方向付けをしてもらいたい。

事業名	『子供塾 for Kaizu』
実施団体名	歴史探訪・環境調査・スポーツ等の体験学習を通して、将来の海津市を担って立つ子供達のための『子供塾 for Kaizu』

事業に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	100% 6人		
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	50% 3人	50% 3人	
事業の発展性・継続性が認められるか？	100% 6人		
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	83% 5人	17% 1人	
意見・感想			
<p>児童に自然観察が出来ていてよい。 企画から考えられていてしっかりと実施されており、良いと思う。</p>			

協働に対する評価	適正	工夫が必要	改善すべき
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	50% 3人	50% 3人	
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	50% 3人	50% 3人	
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	17% 1人	83% 5人	
意見・感想			
<p>市の講座とし、円滑な募集をしていくことで協働がなりたつのではないかと 団体単独でできている部分が多いと思う。教育委員会やまちづくり系の講座などと整理が必要。</p>			

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

<p>目的、効果は出ていると思われる。今後の適正な題材の準備・確保と指導者の前向きな姿勢に期待したい。 一定数以上参加すれば修了証を発行するなど、表彰規定のようなものを作るともっと参加者が増えると思う。</p>

かいづ夢づくり協働事業 事業評価書

⑦

事業名	特定非営利活動法人 海津おやじの会
実施団体名	養老鉄道利用活性化事業 その2

事業に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
公共的課題の解決や地域の活性化等、事業目的が達成できていたか？	50%	3人	50%	3人		
事業の実施方法やスケジュールは適正だったか？	50%	3人	50%	3人		
事業の発展性・継続性が認められるか？	33%	2人	67%	4人		
事業に対する予算の使われ方は適正だったか？	67%	4人	33%	2人		

意見・感想

池田町町民に限定してみかん狩りが養老鉄道の発展にどのようにつながるかが見えない。
 特定の人物に依頼して実施というのは問題がある。
 もう少し参加者の負担をとる中で利用者を広げてもらいたいということを感じる。

協働に対する評価	適正		工夫が必要		改善すべき	
協働にあたり、団体と市相互の特性を生かすことができていたか？	50%	3人	33%	2人	17%	1人
市と協働することで単独で行うよりも効果があったか？	50%	3人	50%	3人		
他地域、他団体への拡がりやつながりが認められるか？	17%	1人	83%	5人		

意見・感想

市と協働しているとは思えない。
 難しいと思うが、もう少し他団体や他地域へ広がりをもった活動にするにはどうしたらよいのかとい
 うところに視点が欲しい。
 ずっと恒常的になるような仕掛けまで本当はやってもらわなければいけない。
 JAとのタイアップなどで受け入れを拡げていてもらいたい。

その他意見（今後事業が発展していくための助言等）

学校の場合、直接農家と契約して実施してもらおう方向までもっていったほうがよい。

その他

海津市として個人的な活動を支援するものを何かつukれないかと思う。
制度上の課題について市民活動団体に周知を。4月から事業が始められるように変更できないか（大垣市は3月に次年度の提案審査、4月に前年度の報告会）。

